

平成 28 年 2 月 10 日

東松島復興推進員だより(第 25 号)

～地を往きて走らず～

JICA 地域復興推進員(宮戸担当)

秋山 千恵

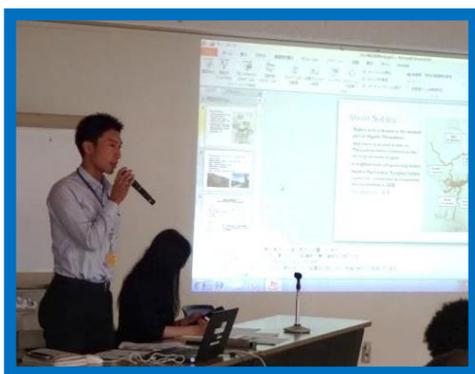
東日本大震災からまもなく 5 年が経過しようとしています。東松島市宮戸地区では、高台に移転した住宅で 2 度目の年越しを迎えた方、災害公営住宅で初めての年を越した方など様々な方がいらっしゃいます。進む復興により、生活が落ち着くとともに、心のゆとりが生まれているように感じられます。

本号では、JICA 研修員受入事業の様子をご紹介致します。本事業は JICA が実施する技術協力の一つで、開発途上国の行政官や技術者に対して日本国内で研修を行うものです。プログラムは、「課題別研修」、「国別研修」、「青年研修」の 3 つに大きく分類され、日本全体では毎年約 1 万人、東松島市では累計 400 名以上の研修員を受入れています。

〈復興支援における外部者の役割〉

研修員は主に発展途上国の行政官であるため、同じく行政である東松島市に講義のご協力をいただく機会が多くあります。東松島市では、平成 17 年度より「市民協働のまちづくり」に取り組んでいます。「市民協働のまちづくり」とは、地域における課題について、住民が主体となってまちづくりを行うことを目標とすることを指しています。その取り組みは、東日本大震災の際にも、円滑な避難所の運営や、現在の住民主体のまちづくりにつながりました。研修員はこういった行政の取り組みや復興過程における教訓を学びます。

また、地域復興推進員が講義を行う場合もあります。震災直後より活動を行ってきた前任者の取り組みや現在の活動、外部者の果たしてきた役割についてなど説明を行います。外部からの支援が多い途上国にとって、役に立つヒントがあるのではないかと思います。



活動地区の状況や
活動について
講義を行う推進員

〈被災地の現状を伝える〉

我々地域復興推進員が活動を行っている、野蒜・宮戸地区は「奥松島」と呼ばれています。日本三景の「松島」の先にあることから、このような名がついています。奥松島の案内役といえば、「奥松島観光ボランティアの会」の観光ガイドの皆さんです。東日本大震災以前は観光ガイドとして活躍されていましたが、現在は震災の語り部として、被災地の案内も行っています。

研修員は被災地の現状を直接目で見ながら、震災当時の様子や復興状況についてガイドの方に熱心に質問をします。現在は復興が進んでおり、震災当時の被害が感じられない場所も多く存在しています。ガイドの方から説明を受ける中で、震災の大きな被害の様子を知り、とても驚いている様子も見られます。我々地域復興推進員がコースを提案し、直接案内をすることもあります。



メディア招へい(※)の参加者に説明を行う奥松島観光ボランティアの会のガイド(中央正面)。研修以外にも様々な場面で案内が可能。



研修員に説明を行う推進員(右端)

※メディア招へいとは、途上国の新聞・テレビなどのメディア関係者を対象に、日本や JICA 事業の理解を目的としたプログラムの一つ。

〈地域住民との意見交換〉

研修では、地域住民と話をしたいという要望が多くあります。外国の方とお話しするのは緊張する、まだ震災の話はしたくないという住民の方もいますが、その一方で、せっかくの機会なので参加してみたい、今回の教訓を役に立てて欲しい、震災の状況や復興状況、団体の取り組みについて知って欲しいなど、積極的に協力して下さる住民の方もいます。

始めは緊張した様子ですが、熱心に話をしていく中で、打ち解けていく様子が見られます。住民と直接会話することにより、研修員は住民主体のまちづくりについての理解を深め、自国にその取り組みを例として持ち帰っています。



野蒜住民との意見交換の様子。
説明に熱心に耳を傾けます。



打ち解けていくと、次第に笑顔で
話す様子も見られました。

今後も研修員受入事業を通じて、推進員の活動地域の住民のみなさんとの交流の機会を設けると同時に、日本での教訓や経験を伝えることができる機会になればと思います。また、研修員の方々にとって、自国に戻った際に役に立つことを願っています。

【推進員だよりバックナンバー：JICA 東北ホームページ】

<http://www.jica.go.jp/tohoku/enterprise/shinsai/index.html>

以上

JICA は、宮城県、東松島市、宮城大学、東松島まちづくり応援団(NPO)等と共同で「地域復興推進員」を通じた震災復興モデル事業を東松島市で開始しました。このモデル事業では、早期震災復興につながる”市民協働のまちづくり”を支援することを目指しています。ここで得られた教訓や経験を将来の国際協力に繋がります。
